



## そうあんの里 落語会 開催

3月10日(日)福祉部主催の「第2回 そうあんの里 落語会」をふれあい倶楽部ホールにて41名参加で開催しました。たんたん落語会から3名(春歌亭丹馬さん・尼乃家河鹿さん・迷探亭小ん南さん)、たんたん落語笑年団から3名(ほしぞら亭きらりさん・天空亭すあさん・天空亭らんさん)が出演、とても楽しい時間を過ごしました。参加者の皆さんには、たくさん笑って大変満足していただけたと思います。

演目の中にうどんを食べるシーンがありましたが、とてもリアルで、うどんをすすり、汁を飲み干す場面は最高でした。この印象が強く、「うどんが食べたくなった。今夜はうどんにしよう。」という方もいらしたようにお聞きしました。

昼食は営農組合さんからのお米の提供により、花水木の会の会員さんの手作り「炊き込みご飯」をご賞味いただきました。

次回開催時にも今回同様多くの地区民の皆様に参加いただき、大いに笑いましょう。



天空亭すあさん



迷探偵小ん南さん



尼乃家河鹿さん



ほしぞら亭きらりさん



天空亭らんさん



春歌亭丹馬さん



## 春休みこども青谿書院塾 開催

3月26日(火)宿南の小学生21名の参加、ふれあい倶楽部ホールで学びの里プロジェクトメンバーの方の指導のもと開催されました。各学年とも振り返りの勉強を行いました。



## クイズの応募ありがとうございました

3月号で募集した「自治協からのメッセージクイズ」の答えは

読もう！ふるさと宿南 でした。

当選されました方には賞品をお届けいたします。



## 身近で見られる植物 ③⑤

シロバナタンポポ (白花蒲公英)

<キク科>

タンポポと言えば、黄色い花を思い浮かべますが、時々白い花のタンポポを見つけることがあります。周りでよく見かけるタンポポの多くはヨーロッパ原産のセイヨウタンポポですが、黄色のタンポポでも日本在来種でカンサイタンポポがありこのシロバナタンポポも在来種です。

さて、セイヨウタンポポと在来種のタンポポの違いは何か？調べてみて下さいね。



## ひまわりカフェ オープン

4月27日(土) 9時~12時

当日は“春の弾き語り コンサート”がふれあい倶楽部で開催されます。

(詳細はチラシをご覧ください)

春ののどかな時間、コーヒーを飲みながら、音楽を聴きながら、至福の時を過ごしませんか。



お知らせ

4月17日(水) 理事会

4月27日(土) 春の弾き語りコンサート

5月1日(水) 議会報告会

4月24日(水) 宿南地区自治協議会総会

4月28日(日) 水路清掃



## 草庵先生紹介

日記 62



不義理をしていた満福寺の不慮上人と和解ができた草庵(右)

宮崎和夫さん作

池田草庵は青谿書院を開いてからも、幼い頃自分を育ててくれた不慮上人ふきよしょうにんに会うためにたびたび満福寺を訪問した。「(前略) 広谷(現・養父市広谷)に行き、太田垣氏を訪ねる。昼食後一休みしてから、大橋氏を訪問し夕刻まで話す。その後、新宮山満福寺に行き、老和尚(不慮上人)を訪ねる。その後、坂を超え朝倉を経て八鹿に。九鹿まで行き、林家に泊」(弘化4<1847>年8月1日)

この時は不慮上人と和やかに親しく話はずんだことだろうが、実は長い間、草庵は上人に会うことさえ拒絶されていた。草庵は10歳で満福寺に入り、この不慮上人には大変可愛がられて、期待もされた。しかし16歳の時、儒学者の相馬九方の講義を聴く機会があった。以来、自分は仏の道には向いていなくて、儒学の道に進みたいと考えるようになる。それは上人の恩義に背くことになり、迷いもした。しかし、ついには自分の志に向かってお寺を無断で出奔した。京都に出て儒学を学びながらも、草庵は自分を育ててくれた不慮上人の恩を忘れたことはなかった。何としても自分の進む道を理解してもらい、許してもらいたいと願っていた。京都から帰省のたびに、上人に許しを請いに満福寺に行った。しかし、門前払いをされるだけだった。それでも23歳になった時、草庵の真心が通じ、不慮上人に会うことが許されたのだ。その喜びと感謝の気持ちは上人に宛てた手紙からうかがえる。

「以前から、ひと目師にお目にかかり、昔の恩のお礼申したいと思いましたが、了解していただきませんでした。昨年しゅうの冬、私はまたふるさとに帰り、またまた願い出たところ、師は切実な思慕の思いをあわれみ、背いた罪を許してくださいました。ありがたいことに、温顔と慈愛の心から出る訓戒とをいただき、半日の間、緝しゅう(草庵の本名)の心を慰めることができました。ああ、緝は我が師の知遇を受けて、ついに願っていたことを果たしました」(「奉不慮上人書」から)

この手紙は不慮上人との和解ができた翌年に書いたものだ。これ以後、草庵は機会あるごとに満福寺に不慮上人を訪ね、自分の歩んでいる道について報告し、上人も喜んで草庵の話聞き、励ますのだった。

池田草庵先生に学ぶ会